



2023年度 児童発達支援 自己評価 集計結果

公表日: 令和5年12月21日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		パーティションでブースを区切って背中合わせにし、対面しないようにしている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	✓		必ず1対1で対応できるように配置している。サポートが必要なお子さんにはフォロースタッフをつけている。	全体フォローができるフリースタッフが配置できるようにしたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	✓		建物裏の駐車スペースにスロープがある。玄関、階段に手すりを設けている。玄関先は段差がなく、滑りにくい素材になっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	✓		加湿、除湿も含めて清潔で過ごしやすい環境の提供を心掛けている。消毒作業も含め、1日に2回掃除をしている。	感染症予防・換気のため、窓を少し開けていることがあるが、療育中は閉めて防犯対策も心掛けたい。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓		日々の業務の振り返りの中で情報の共有をしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		日々の中で意見を聞き、業務改善につなげている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		ホームページにて公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		✓	療育面では臨床心理士の検証及びフィードバックを行っている。	第三者による評価は今後、取り入れていきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		3か月に1回の臨床心理士によるスーパーバイズや、月1回の事業所内研修を行っている。外部研修等も参加出来るように調整している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	✓		子どもの姿とともに保護者のニーズを聞き、現状に合わせて作成している。	
	11 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		発達検査の結果シートがある利用者はそれを利用してアセスメントを行っている。その他、法人共通の面談シートを使用して初回面談時に実施している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	✓		家庭や地域で生活できることを前提に支援内容を組み立てている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓		支援計画に沿った支援を行っている。	複数のスタッフで担当する際には担当によって差異が出ないようにする。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		児童発達支援管理責任者と担当者を中心に立案を行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		畑での野菜の植えつけ、収穫、季節にあった制作を行う等、固定化しないようにしている。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	✓		グループ希望者については、個別活動と組み合わせで作成している。同年代のお子さん同士で活動する機会を個別療育の際にも作っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		利用者の確認、特記事項も含め、当日の動きを確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓		その日の情報の共有を含め、内容等について振り返りを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		保護者へ記録のコピーをお渡しし、検証につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		年2回のモニタリング後、保護者の意向を確認し計画を見直している。 療育後に、保護者との情報共有の時間を設けている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		相談支援の研修を受けた者、療育担当者が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓		保護者を通して行っている。 必要に応じて関係機関と連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		✓	現在医療的ケアを必要とする利用者はいないが、今後は必要に応じて対応していく。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか		✓	現在医療的ケアを必要とする利用者はいないが、今後は必要に応じて対応していく。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		移行支援に関わらず日々の療育の中で保護者の要望により情報共有、連携を図っている。 また必要に応じて、法人内の保育所等訪問支援へ繋げ、訪問を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		移行支援に関わらず日々の療育の中で保護者の要望により情報共有、連携を図っている。 また必要に応じて、法人内の保育所等訪問支援へ繋げ、訪問を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		必要に応じて各機関と連携をとっている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓		プールや公園利用の際、機会をふまえて行っている。 また、事業所主催で、一般の方も参加できるコンサートや手作り体験教室を開催している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓		海老名市の自立支援協議会等に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		保護者との連絡ノートを活用したり、送迎時に情報共有を行っている。また、支援記録のコピーを渡している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	✓		相談があった際には対応している。また必要に応じて、法人内のペアトレの研修を受けたスタッフや心理士に繋いでいる。	ペアレントトレーニングの研修の受講を職員に勧めていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		契約時及び更新時、丁寧に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓		年2回モニタリングを行い、保護者に計画の内容を説明し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		個別面談や電話・メールでの相談にも応じている。 スーパーバイザー（臨床心理士）による支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		保護者が対象の茶話会を開いている。 また、通年ではおやじの会に職員が参加している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		窓口だけでなく、職員の誰に対しても申し入れができることを伝えている。 また、苦情があった場合には迅速に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		ホームページや療育便りを通して発信している。 またメーリングリスト配信も活用している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓		文書や映像に関しても十分に配慮している。写真等記録の使用について毎年書面にて確認している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		メモやFAX、メール等で情報伝達を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		法人主催のイベントを実施し、参加・周知をしている。	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓		各マニュアルは職員間で確認し、保護者が閲覧できる様に玄関にファイルを設置している。 必要に応じて、リニューアル等をしていく。BCPIについては現在作成中である。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		年に1回避難訓練や非常食等の備品確認等を実施している。	
43		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	✓		インテーク時に服薬、持病等について確認し、適宜変更等の情報は保護者との共有に努めている。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		✓	初回面談時にアレルギーの有無を確認している。現在、重度のアレルギーがある利用者はいない。	今後、医師の指示書に基づく対応が必要なお子さんが利用される場合は対応できるように連携をしていきたい。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		ヒヤリハットの事例を職員間で共有し、改善策を迅速にとるようにしている。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		委員会を立ち上げている。 また、市からの虐待防止の研修を職員全員が受講し、パンフレットを所持している。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	✓		今現在、該当者はいないが、今後やむを得ず身体拘束を行う場合については組織による決定と個別支援計画の記載をし、本人・保護者へ説明をしていく。	



2023年度 放課後等デイサービス 自己評価 集計結果

公表日: 令和5年12月21日

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
体制・環境整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			パーティションでブースを区切り、背中合わせにし、対面しないようにしている。
	2 職員の配置数は適切であるか	✓			必ず1対1で対応できるように配置している。サポートが必要なお子さんにはフォロースタッフをつけている。 全体フォローができるフリースタッフを配置できるようにしたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			建物裏の駐車スペースにスロープがある。 玄関、階段に手すりを設け、玄関先は段差をなくし、また滑りにくい素材になっている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			日々の振り返りの中で情報の共有をしている。 他の職員の内容に興味を持ち、自分の考えに固執せず視野を広げる努力をする。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			日々の中で意見を聞き、業務改善につなげている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			ホームページにて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	療育面では臨床心理士の検証及びフィードバックを行っている。 第三者委員会の立ち上げ等、今後の課題にしたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			3か月に1回、臨床心理士によるスーパーバイズや、月1回事業所内研修を行っている。外部研修等も参加出来るように調整している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			子どもの姿とともに、保護者のニーズも聞き取り、現状に合わせて作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			発達検査の結果シートある利用者はそれを利用してアセスメントを行っている。その他、法人共通の面談シートを使用して初回面談時に実施している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			児童発達支援管理責任者と担当者を中心に立案を行っている。 グループ活動は担当するスタッフ全員で行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			畑での野菜の植えつけ、収穫、季節にあった制作を行う等、固定化しないようにしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			長期休暇の時には普段できない陶芸や木工等の制作、調理、外出、余暇活動などを取り入れている。 また、放課後の体調を見て、活動内容の変更や調整をしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			グループ希望者については、組み合わせで作成している。 同年代のお子さん同士で活動する機会を個別療育の際にも作っている。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			利用者の確認、特記事項も含め、当日の動きを確認している。	

	チェック項目	はい	どちらとも いい	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			その日の情報の共有を含め内容等について振り返りを行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			毎日記録を記入し、保護者へもコピーをお渡しし、検証につなげている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			年2回モニタリング後、保護者の意向を確認し見直している。療育の度に保護者との情報共有の時間を設けている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	✓			身辺整理や家事スキル等、複数組み合わせ支援している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			相談支援の研修を受けた者、療育担当者が参画している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	✓			事業所連絡会へ参加したり、情報変更時にはメールを送っていただいている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	✓			保護者を通して行っている。 医療的ケアが必要なお子さんを受け入れる場合は、主治医から指示書をいただき、それに基づいて看護師が対応している。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓			必要なお子さんには、メールや電話でやりとりしている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓			必要なお子さんには、メールや電話でやりとりしている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			✓	機会があれば参加したい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓			プールや公園利用の際、機会をふまえて行っている。また、事業所主催で、一般の方も参加できるコンサートや手作り体験教室を開催している。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			海老名市の自立支援協議会等に参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			保護者との連絡ノートを活用したり、療育の度に報告・情報共有の時間を設けている。また、支援記録のコピーを渡している。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		✓		相談があった際には対応している。また必要に応じて、法人内のペアレントの研修を受けたスタッフや心理士に繋いでいる。ペアレントトレーニングの研修の受講を職員に勧めたい。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約時及び更新時納得されるまで説明を行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			日々の療育時や電話等にて都度対応をしている。個別面談や電話・メールでの相談にも応じている。スーパーバイザー(臨床心理士)にて支援を行うなど必要に応じて法人内の心理士に繋いでいる。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			茶話会を開いている。 また、通年ではおやじの会に職員が参加している。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			窓口だけでなく、職員の誰に対しても申し入れができることを伝えている。 また、苦情があった場合には迅速に対応している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			ホームページや療育便りを通して発信している また、メーリングリスト配信も活用している。
	35 個人情報に十分注意しているか	✓			文書や映像に関しても十分に配慮している。写真等記録の使用について毎年書面にて確認している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			メモやFAX、メール等で情報伝達を行っている。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			法人主催のイベントを実施し、参加・周知をしている。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			各マニュアルは職員間で確認し、保護者が閲覧できる様に玄関にファイルを設置している。 必要に応じて、リニューアル等をしていく。BCPIについては現在作成中である。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年に1回避難訓練、非常食等の備品確認等を実施している。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			委員会を立ち上げている。 また、市からの虐待防止の研修を職員全員が受講し、パンフレットを所持している。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			✓	今現在、該当者はいないが、今後やむを得ず身体拘束を行う場合については組織による決定と個別支援計画の記載をし、本人・保護者へ説明をしていく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			✓	初回面談時にアレルギーの有無を確認している。現在、重度のアレルギーがある利用者はいない。今後、医師の指示書に基づく対応が必要なお子さんが利用される場合は対応できるように連携していきたい。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			ヒヤリハットの事例を職員間で共有し、改善策を迅速にとるようにしている。